

院内トリアージ実施のお知らせ

当院では院内トリアージを実施しております。

院内トリアージとは、緊急度の高い患者さまを優先して治療する体制です。時間外、深夜、休日の来院時 10 分以内に、看護師等が患者さまの状態を確認させていただいた上で緊急度の判定を行い、緊急度の高い順に診察をさせていただきます。その場合、順番が若干前後することもございますが、ご了承頂きますようお願いいたします。

その後、待ち時間が長時間になるような場合は一定時間経過(30 分)後に再度緊急度を確認させていただきます。

なお、お待ちの間に症状に変化がございましたら遠慮なくお申し出ください。

救急診療時間帯の重症患者様のすみやかな治療のためにご協力をお願い致します。

院内トリアージ実施基準

＜目的＞

- 1) 患者の来院時に適切な対応を迅速に行う事を可能にする。
- 2) 緊急性の高い患者を適切に優先し、診療の効率性を向上させる。
- 3) 医療スタッフによる一貫した判断を基準の提供と、適切な対応が行われることを保証する。

＜判断基準＞

JTAS 緊急レベル判定

緊急判定レベルカラー	診察の必要性	症状の特徴例	再評価の目安
レベル 1 蘇生 (Blue)	直ちに診察・治療が必要	心停止・重症外傷・痙攣持続・高度な意識障害	治療の継続
レベル 2 緊急 (Red)	10 分以内に診察が必要	心原性胸痛・激しい頭痛や腹痛・自傷行為など	15 分ごと
レベル 3 準緊急 (Yellow)	30 分以内に診察が必要	症状のない高血圧・痙攣後の状態（意識は回復など）	30 分ごと
レベル 4 低緊急 (Green)	1 時間以内に診察が必要	尿路感染症・縫合を必要とする創傷（止血済み）など	1 時間ごと
レベル 5 非緊急 (White)	2 時間以内に診察が必要	軽度のアレルギー症状、軽傷の外傷など	2 時間ごと

＜対応手順＞ ※トリアージは患者が 2 人以上来院した場合行う
バイタルサイン測定・問診・主訴の確認と第一印象の確認

- ① 症状の重篤さに関する質問事項
 - ・呼吸困難や息苦しさの有無
 - ・意識の混濁や意識喪失があるかどうか
 - ・激しい痛みや出血、大量の嘔吐、下血があるかどうか
- ② 病歴や持病
 - ・重篤な持病や過去の手術、入院歴があるかどうか
 - ・慢性的な疾患やアレルギーの有無
 - ・服用中の薬や過去の治療について
- ③ 症状の持続時間や頻度
 - ・症状の急激な悪化や急速な増悪があるかどうか
 - ・症状が持続したまま改善しない状況にあるかどうか
 - ・突然の発症や急速な悪化があるかどうか
- ④ 検査や処置の必要性
 - ・迅速な検査や処置が必要とされる状況であるかどうか
 - ・重度の疼痛や突然の身体的な変化があるかどうか
 - ・緊急医療対応が必要とされる可能性があるかどうか
- ⑤ 院内トリアージを行う際は患者又はその家族に対して十分その趣旨を説明すること

⑥ トリアージを行った際、電子カルテ患者一覧画面よりトリアージのレベルをダブルクリック、若しくは右クリックし選択する

⑦ レベル 1・2 は ER へ移動

バイタルサイン測定・心電図・SPO2・ 持続モニタリング開始と同時に救急医へコール

※必要に応じてドクターチャーターをする

⑧ レベル 3・4・5 は問診後、診察室待合で対応とする

状況に応じて必要な検査・処置を行い救急医師へコール

⑨ トリアージをした時間と評価した時間の記載を行うこと

令和 6 年 2 月 1 日作成